

ふたをこい プロフェッサーPの研究室 岡 田 淳

教授! 僕に
人間のこぼれを話させるのに
成功しました



まさか!



木、木、ハナセルンダゼ



ん?



ドウダ、オロイロウ

すごい!
画期的な
成功だ!



もはや きみは 私の助手ではない
これからは プロフェッサーと
呼ばせてくれ



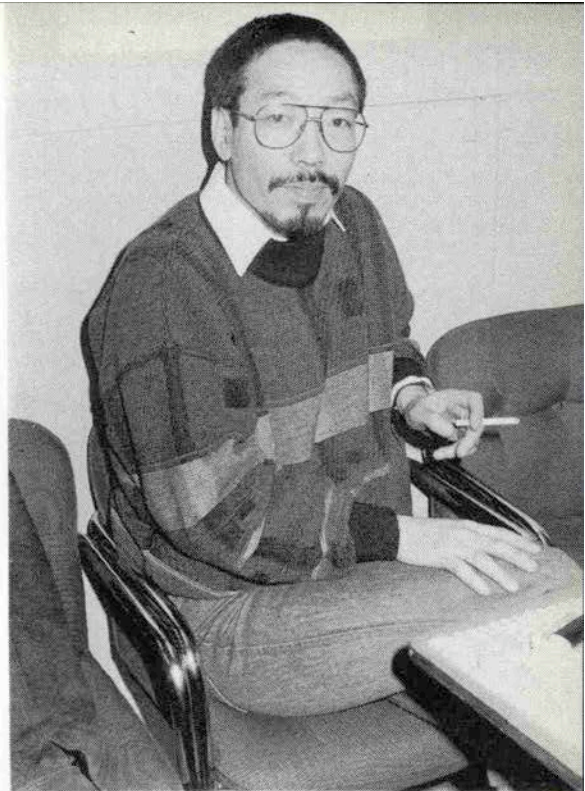
こんにちは



先日の本の代金を
いただきにきました
「腹話術入門」
というやつです

エ、エイプリル・フールというのを ごぞんじて……？





珈琲のみながら…

ドイツから10年半ぶりに帰神
国際的なアーティスト
植松奎二さんに聞く

新しい日本のアートを
もっと世界に…。

★植松奎二展／4月1日～13日＜於／トア・ロード画廊＞

ドイツのデュッセルドルフへ、一九七五年の九月に神戸を出発した現代美術作家の植松奎二さん（当時二八歳／神戸市文化奨励賞受賞）が、夫人の和子さんと一、二年の予定だった国外生活も、仕事が世界的な評価を受けドイツを中心に、ヨーロッパ各地で精力的に活躍。パリのボンピドー美術館の裏にある現代美術ギャラリー「ポードワン・ルボン」との契約を機に三月七日帰国。帰神早々、母校の神戸大学教育学部美術科で、十三日から一週間「立体構成」の講師を務めた。

長髪を短くし若々しいスタイルで、和子夫人と共に神戸っ子の編集部を訪れたところをインタビュウ。夙川河畔に家も定まり、日本での仕事も本格化する。

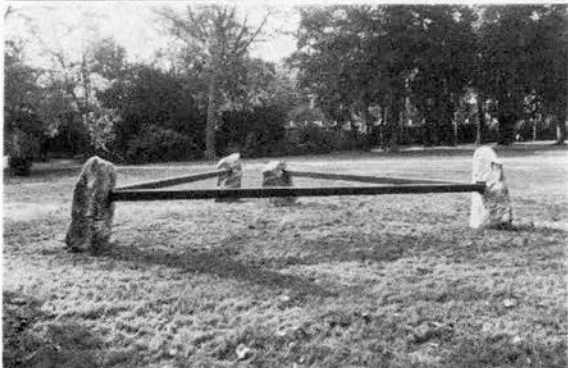
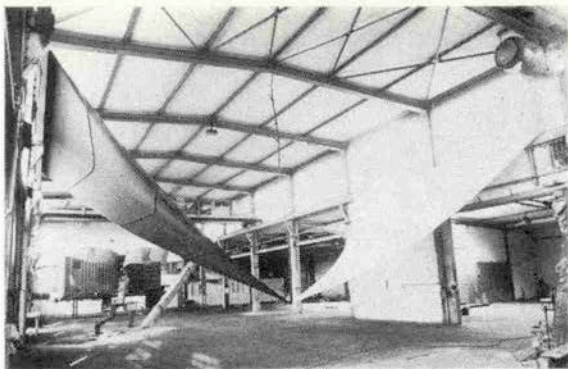
——もう十年半のドイツ滞在とは早いものですね。

植松「ほんとにあつという感じの十年半で、昨年の九月で十年目だったので、神戸の仲間には帰るよ帰るよと、手紙で一くぎりを告げていたんです（笑）。

八一年から個展を開いていたパリのギャラリー（ポードワ・ルボン）と契約しました。ここはひと月二〇万〜二五万のギャランティが出て、ヨーロッパ・アメリカで五万のギャランティが出て、ヨーロッパ・アメリカで五万のギャランティが出て、ヨーロッパ・アメリカで五万のギャランティが出て、ここを通す最終交渉のエージェントなんで

す。作家活動は自由なんですよ。四月十五日と五月九日まではパリのサントルイス教会でグループ展、六月二十八日と八月十日はドイツのフェルバッハで彫刻のトリエンナーレがあつて五月にドイツへ単身で帰り、ニースのアートフェアが六月に開かれて、正面入口に大作を創るし、七月はドイツのフライデベルグでコーナー展、九月にはフランスのセダン市立美術館で、黒田アキ（パリ）、長沢英俊（ミラノ）とドイツの僕を加えて三人展があり、九月と十月に西ドイツのザールブルッケン市立美術館へ廻ります。そして十二月には、ボンピドー美術館で「日本現代美術展（明治から一九七〇年まで）」が開かれて、僕は年代的に下なので「ポードワン・ルボン・ギャラリー」で同時に個展を開く予定なんです。年内のスケジューリングが一杯で日本とドイツのアトリエを行ったり来たりして仕事をし、和ちゃん（夫人）は神戸にずーっといるという感じになりますね。これからはむつかしいけれど、日本とドイツ両方に拠点を持ってやっていこうと意気こんでいます。でもまあ、まだ旅の途中というか家に精神的に落ちつくという定住意識はないですけど」。

——神戸で久々の発表ですね。



Situation-Horizontal 1985 9m×8m×1.5m (上) Stone & Iron
Collection Fondation Cartier Jouy-en-Josas (下) Triangle-
White/red 1985 Installation at Wandelhalle Köln

でも博物館の他の美術館が数館あり、陶芸館や歴史美術館もあり、シンフォニーをかかえ、オペラハウスもあり、若い作家のためのギャラリーもあって、各都市が文化レベルを競い合っています。神戸も博物館は出来ましたが、やはり市立美術館がほしいですね。日本も経済的には世界に実績を認められてきましたが、文化面ではまだまだ。伝統芸術だけでなく新しい日本のアートをもっと世界に紹介すべきですし、そんな状況が近づいて来ているようにも思いますね」と、リラックスして語ってくれた。

植松「長いことやってへんなあ、というのが実感(笑)。六〇年代の作家たちは、外国へ出ると向こうで生活し日本を捨てている。けれど僕は七〇年代で外国へは「ちょっと見てくるわ」という感覚で行きましたが、日本人は日本がいいのに決まっているからやはり、生活は日本で、仕事は日本と外国と、両方できたら一番ベストやと思う訳です。四月一日〜十三日は神戸のトアロード画廊、六月十四日〜七月二十七日は、東京のスパイラルガーデンの現代美術グループ展(テーマ糸・布の断面)に出品します」。

——外国へ出発するきっかけは何だったのですか。

植松「一九七六年の一月に北欧を旅行したんです。その時ストックホルムの国立近代美術館のキュレーターに出会って、彼は日本のグループ展で僕の作品を見ていて実際に僕と出会って作品をいろいろ紹介し終ったらさすが「あなたの展覧会をやりましょう」。外国のキュレーターは凄い全権を持っている。一カ月のアパート代と生活

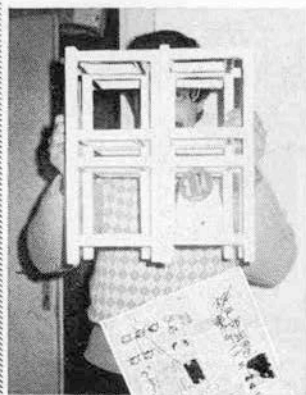
費、素材費を持ってきて作品づくりをやったんです。凄い待遇でした。一番最初が、ストックホルム国立近代美術館でいきなり個展を開いて、次がデュッセルのクンストハレで個展、ピースバーデン市立美術館で個展と、この一年が決定的なデビューで、あとは次々パリ、ニューヨークと仕事が増えましたから僕はラッキーでしたね。

今年の十月も、パリから二五キロ離れたところに、カルチュエが「ファンデーション・カルチュエ」という現代美術のための財団をつくり、彫刻展を開き僕も招待作家として出品し、カルチュエのコレクションに入る事になったのです。須磨の離宮公園の倍ぐらいの広さの彫刻公園でお城や、レストランがあり、ビレッジになっていて、屋外と室内のコレクションを入場料を出して楽しめるんです」。

——神戸の街に望まれることは？

植松「六十万人ぐらいのデュッセルドルフのような都市

☆出合いの旅

東ヨーロッパと
カベリーニの
現代美術

嶋本昭三

(アーティスト)

昨年十二月三十日に亘って東ヨーロッパの社会主義国を中心に十カ国を廻った。

ミラノで個展の企画があり、マドリッドで具体の展覧会を開催してくれるという話が、私をヨーロッパに赴く決心をさせた発端であるが、この二つの展覧会の間の日数がかかり空いていたのでその間東ヨーロッパの社会主義国を訪ねることを思いついた。

私はメールアドレスを始めて三十年、東ヨーロッパのアーティスト達と本格的に交流を始めて十年になる。AUという機関誌を出版していて、海外から送られてくるメールアートのインフォメーションを日本語で、日本からの募集を英文で掲載し、更に世界から送られて来た現代美術の作品や彼らのリスト等を織りこんだネットワーキング紙である。

これに自分達の作品も加えて年間約五千のメールアドレスを海外に送り、海外から約五十カ国約三千名のアーティスト達のリストの中から、一日十通くらいの割でメールがとどく。

その中で意外と多いのが東ヨーロッパの社会主義国からの通信であったので、この機会に彼らを訪ねる計画を思いついた。社会主義国の訪問は一般にツアーで定められたコースをまわって終る。それではおもしろくないので、私は早速手紙を出して、「あなたの方の家に泊めてもらいたい。そして交流したい云々」を書いて送った。

ユーゴスラビア、チェコスロバキア、ルーマニア、ポランド等より承知の返事がとどいた。東ドイツとハンガリーはホテルを予約しないとビザがもらえなかった。西欧側からも応答があったが日数に限りがあるので結局十カ国に絞った。

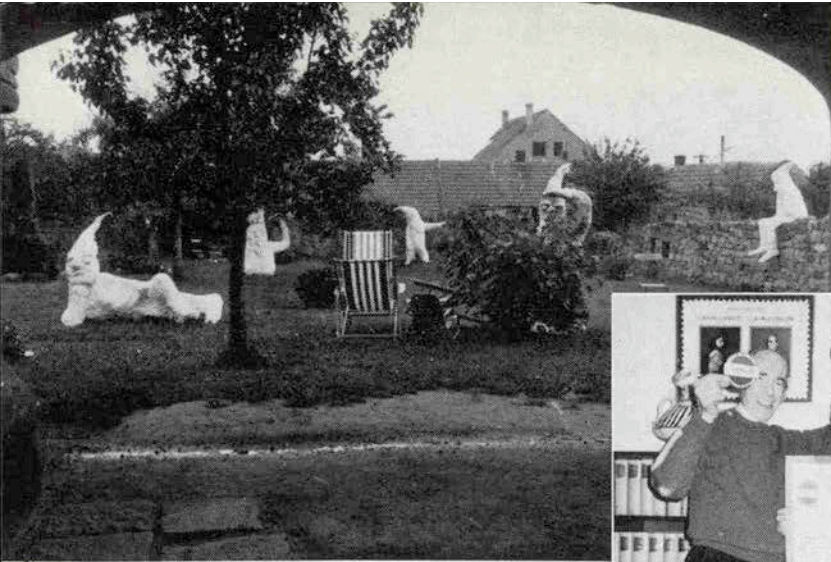
この計画には五名の友達に参加したが、それぞれの事情があつて、私と半分以上行動を共にした人はなかった。ひとりであつたり二人で訪ねたりして、五名が一緒になってまわることもなかった。

訪ねる先が大都市でなかったり、この度の旅行の主旨が東ヨーロッパの細部を知りたいということであつたので、すべて列車でまわった。

乗務員やパスポートの監査官が横柄なことは聞いていたが、パスポートの査証一冊をしらべるのに三〜四人監査官が別個にやって来て、我々をたたき起こし、分担のページのみを検閲するという非効率さにはおどろかされた。

オリエント急行などという夢のある名称で聞いていたが戦前の車輛などもあり、走っている途中で連結器がちぎれてしまうという事故がおきるようなしろものであつた。しかも残された車輛を切りはなして走ったので我々は危うくとり残されるどころであつた。

しかしアーティスト達は考えられないような歓迎をしてくれた。どの国を訪れたときでも二百キロくらいはな



自宅の中庭の農業倉庫を改造して作った展示場（上）カペリーニの赤と緑のシールを持つ筆者（右）とカペリーニ



れた地より訪ねて来てくれた。一边が二メートルもあるような日の丸を掲げてくれてもてなしてくれたいところもあった。ルーマニアではひと月に何と20リットルしか車のガソリンの配給がない。それでもイゾーフ・キラリーは三日に亘って毎日のように車で各地を案内してくれた。おそらく二〜三カ月分のガソリンをたっぷり食ってしまったのではないだろうか。

東ベルリンでは西ドイツの人達の入国については一日しか許可にならない。検査もきびしい、この中で西ドイツの人達は毎日西ベルリンに帰っては訪ねて来てくれた。現代美術の作品の作品発表に当たっても様々な規制がある。前述のI・ギャラリーは地下室に制作場をもちタイトル内の写真のような作品をつくった。建築模型のようなこの作品は鏡に写すと正方形の抽象画が浮かび出るというトリックをもっている。

ポーランドのY・バイゼウスキーさんは、こどもの自由な制作表現の場をつくり、それにかこつけて、自分を表現する。

チェコスロバキアでは美術発表のための印刷や出版について、国策に沿ったものでなければ許可されない。ジリ・ウラは自宅の中庭と農業倉庫を改造してすばらしい展示場をつくっている。我々は帰国後の彼らの作品写真を持ち帰りA.U.全面を使った印刷物に世界に送った。

ミラノでの個展の間に、私はカペリーニ宅を訪れた。東ヨーロッパの現代美術家達が、様々な規制の中でアートをのみ出している姿は、現代美術への夜明けという感じであるが、カペリーニは真昼の太陽の下をつつ走るトップランナーである。

カペリーニは一般の現代美術のルートにないので思い出せない人もいるかも知れないが、彼の名前と生れた年と百才にして没するであろう年を記入した赤と緑のシールは多くの人が知っている。

これはメールアートとして世界に洪水のように送られ、受け取った人は、はじめはカバンや車にステッカーのようにつけて、パフォーマンスに使用したりしていたが、今や自分の作品にも貼りつけてしまうというネットワーキングの開祖で彼の切り開いた道は数知れない。しかも磊落にこの道をつき進んでいるところが何よりも好きだ。

東ヨーロッパの現代美術家とカペリーニは対照的に私に様々なことを教えてくれた。



美術

★現代美術の流れをたどる 大原コレクションより

4月8日(火)~4月25日(金) つかしんホール 一般500円、大・高校生300円、中・小学生200円

「大原コレクション」の名で有名な倉敷の大原美術館より、近代から現代に至るまでの前衛美術約60点を紹介する。



「カット・アウト」

ミロ、クレーを原点とする抽象絵画から、戦前・戦後を経て多様な方向に向かう現代美術。時代にしばられることなく、自らの感性に忠実に表現した作品からは新しい芸術のうねりが聞えてくる。



演劇

★テアトルカーサ第一回

ブロードウェイ・ララバイ
4月18日(金)・19日(土) 2時・6時半
4月20日(日) 11時・3時 一般200円、せいでんメンバー会員1500円

センター街せいでん南館カーサ8Fに昨年オープンしたばかりのラビングホールでの劇団神戸のミュージカル定期公演。

ところはニューヨーク、ブロードウェイにある「ホツト・ルーマー」(お熱い噂)クラブ。コツトンクラブ時代の良き隣人たちが繰り広げる善意をジャズとタツプで綴る大作。懐しのデューク・エリントンの音楽をバックにデイモン・ラニアン

の原作を松田伸二が劇化、演出夏目俊二、振付近衛真理による



啓子 小倉 伸二 演出夏目俊二、振付近衛真理による



大野 伸二 演出夏目俊二、振付近衛真理による

啓子、前田伊都子、神田由紀ほか。

★この公演のチケットを10名様にプレゼント。希望者は葉書に住所・氏名を明記。神戸っ子劇団神戸係へ。

★銀幕を盗む男

マルセ太郎の映画館

4月8日(火)18時半、シアターポシエト 2000円

言葉と身体が映像を超え、マルセ太郎はもともと漫談を専門にやっていたが映画そのものを演じるまっ

たく新分野の芸にとりくんでいる。

これまでに「泥の河」「天井桟敷の人々」などを手が



一人芸が輝く

けていいるが、映画好きのマルセ太郎の手にかかると、まだ見ぬ人にも映画が見えてくる。そして映画にはない彼の切り口が、ところどころに見え隠れしている。映画を楽しく語りたい。という彼の気持ちが観客との共有である舞台で花開いたといえる。彼の芸に惚れ込んでいる永六輔氏も出演。



音楽

★タンゴ・ピアノの真髓

4月10日(木)18時半 神戸文化ホール 3300円 会員2800円

タンゴの楽団では、ピアノの存在は楽団の色を決める中心的存在。オスバルド・ベリンジェリは今から30年前にタンゴ界の偶像ともいわれるアニバル・トロイロの楽団に抜てきされて以来、自らの個性を生か

すバンド活動を続けてきた。古い感性にとらわれる



ベリンジェリ ことな

りのタンゴをつくりだすことによつて彼の才能は認められ、多くの人々に受け入れられている。

今回の公演は彼の6重奏団に加えて、バンドネオンにリサンドロ・アドロベル、ギター・デユエツトでドウオ・ディアパトリ、そして実力派歌手のパトリシア・ラサラが花を添える。

★坂本龍一ジャパンツアー 「Media Bahn」

4月25日(金)18時半 神戸文化ホール 4000円(全席指定)

YMO以来初めての全国的スケールのコンサート。



龍一が結成したメンバーによるニュー

坂本龍一が結成したメンバーによるニュー・バンド内容も、「今年には自分の最もポツプな面を、全面的に押し出す」と言う言葉どおり、楽しめるコンサートの期待できそうだ。



映画

★深作欣二監督作品

「火宅の人」

4月12日(土)より三宮東映にて公開
大人1,500円、大・高校生1,300円
中学生1,200円

原作の魅力に魂をゆすぶられ、10年間深作監督が暖め続けた作品『火宅の人』がいよいよロードショー。自由奔放に生きようとしながらも子供に引かれ、妻



「火宅の人」

への愛情にも引かれていく「やさしい魂」のゆらめき

と共に、沸き立つように外へ飛び出して行かざるを得ない「荒ぶる魂」をも持ち合わせた主人公の生き方を緒方拳、松坂慶子、いしだあゆみら、魅力的なキヤス

トで描き出す。
★この映画のチケットを5名様にプレゼント。希望者は葉書に住所・氏名を明記、神戸っ子「東映一係」★愛よりも強い友情：
「ホワイトナイツ」

4月下旬より朝日会館にて公開、一般1,500円、大・高校生1,300円
自由を求めて命を賭けるパレエダンサーと愛と夢を再び取り戻そうとするタツブダンサーが白夜の街で出会った。祖国を捨て、固い友情で結ばれたふたりが、新天地で挑戦していっ



ダンスシーンが見もの

たものは何だったのか。
パレエダンサー、ミハイル・パリスコフとタツブの名手ダレゴリ・ハインズのダンスのぶつかり合いが見逃せない。
★この映画のチケットを5名様にプレゼント。希望者は葉書に住所・氏名を明記の上、神戸っ子「朝日会館一係」



音楽

★甲南ファミリーコンサート

ピアノ/鯨野泉

2日(水)18時半 神戸文化大ホ

ル 2,500円

★小山実稚恵ピアノリサイタル

3日(木)18時半 ゴール劇場神

戸 風月堂ホールピア3階 3,500

0円 学生3,000円 会員2,500

00円

★神戸の音楽家たちによる春のコンサート

4日(金)19時 神戸文化中心ホール

2,000円 高校以下1,500円

★リッパシニョアブアン記念演奏

会リッパから春風の響き

指揮/尾高忠明

ヴァイオリン/辻久子

NHK交響楽団

6日(日)14時 西宮市民会館ホ

ル S5,000円 A4,000円

B3,000円 C2,000円

★KCAフアンタジーコンサート

X・Y・Zの薫り

ピアノ/アンリエト・ピレニイ

ロシエ

8日(火)19時 兵庫県民小劇場

2,700円 指定・当日3,000円



美術

★そころ美術画廊

萩橋厚東建信作陶展

4/14/4/9

★第2回黒沢信男油絵展

色絵磁器粉木衣司陶器展

4/11/4/16

★大丸美術画廊

移月明墨彩展

4/25/4/30

★大丸美術画廊

小林和作水彩画展

4/3/4/8

★大丸美術画廊

爽城会日本画展

4/10/4/15

★大丸美術画廊

ポランドの鬼才/R・ザヨソ

4/17/4/22

★大丸美術画廊

京の中道直市

4/24/4/29

★大丸美術画廊

★サンバル市民ギャラリー

現洋会新鋭技展

4/4/4/9

★大丸美術画廊

藤崎寛画展

4/11/4/16

★大丸美術画廊

独立美術協会・新しい具象展

4/18/4/23



古典芸能

★桂木朝狭演会

12日(土)18時半 ルナホール

2,000円(当日2,300円)

★横濱赤尾三千子の世界

共演/ホリ・ロシエ

17日(木)19時 風月堂ホール

5,000円(当日3,000円)



演劇

★円(ども)ステージ

「いつだって今だもん」

1日(火)14時半 小人1,700円

(当日2,000円) 大人2,300円



映画

★第2回OS神戸フィルムマラソン

ハサベンスムビー・フェス

ティバル

殺しのドレス リップスティック

ミッドナイトクロス チェンジリ

ング 面会時間

5日(土)20時半/三劇 1,200

0円(当日1,500円)

★市民映画劇場

「幸福の黄色いハンカチ」

17日(木)・18日(金) 19日(土)

18時半 神戸文化ホール 5,000円

SPECIAL MESSAGE

神戸百店会だより



NEW FACE

★ファッシュヨナブな
ニュードリンク登場

UCC上島珈琲が、ニュータイプのコヒーを新発売した。コヒーにフレーバーをミックスした新感覚飲料で、その名も「カフェティーナ」。スプーン山盛り3〜4杯をカップに入れ、熱湯または水を注ぐだけでOK。△アップル・モカ▽甘ずっぱいリンゴの香りがさわやか、△スイス・モカ▽ソフトなチョコレートの香りがまろやか、



キュートなカフェ・ティーナ

△カルア・モカ▽優雅なカリアリキユールの香りの三種類があり、一缶500円一カップはなんてったって100円。

■中央区多聞通5-1
番361-8800(代)

OPEN

★菊水総本店が
格調高くリフレッシュ

4月1日、神戸駅前前の菊水総本店が装いも新たにリフレッシュオープンする。外観は京都風の格子を取り入れたデザインで古さの中にもモダンな感覚があり一段と格調高いビルになりそ



格調高い外観

う。出入口は一つだが、内部は、おみやげ中心コーナー、オリジナル和菓子のコーナー、だいく実演コーナーの三部門に分かれる。なお1日のオープン日には、新製品のやわらか焼が来店客にプレゼントされる。

■中央区多聞通3-1-15
番382-0080(代)

OPEN

★ファミリアが福岡に
直営店をオープン

ベビーと子供服のファミリア(岡崎晴彦社長)が31店舗めの直営店を福岡市の中洲・玉屋前に2月末にオープンし、快調なスタートを見せている。

5階建の新しいビルは1階が出産育児用品とベビウエア、2階が幼児服と



ファミリア福岡店

強い!
■福岡店/福岡市博多区中洲5丁目1-3 番092-127
2-2424
■神戸店 番392-5555

子供服でも神戸ファッシュヨンは

スヌービー関係、3階がティーンズとビーターラビットのコーナーという売場構成で4階はストック、5階は同時に開設された福岡営業所になっている。

オープン当日は大勢の地元ファンで超満員になり、その後も予想を上回る好調な売り上げで、加藤俊通店長以下スタッフは大張り切りということだ。ベビー、

CHAPEL

★六甲の森の中に

クリスタルチャペルが六甲オリエンタルホテルにこのたびクリスタルチャペルが誕生した。北野町にある個性的なビル創りで有名な建築家、安藤忠雄氏の設計によるもので、素材はやはりコンクリート。

ホテルからチャペルまでの通路はゆうに40メートルはあり、回廊式のパージニングロードになっている。壁と天井が白いスリガラスで囲まれているので外から見ると二人のシルエツトが浮かび上がりムードは最高。教

会内は自然光がふんだんに取り入れられ、大きな十字架の影が厳肅さをかもし出している。収容人数は70名で眼下に広がる眺望も好評とのこと。

3月9日には、オープン第一号の挙式も行われた。



ロマンチックなウェディングを

■灘区六甲山町西谷山1-87-6
番891-0333

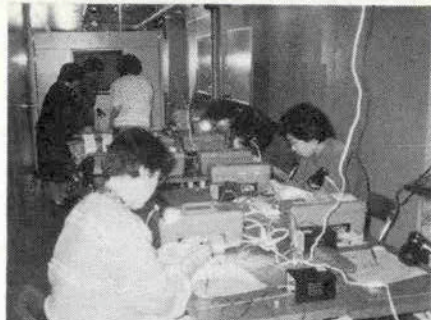


●四季折々の特産品料理が自慢です
 下村 すみ子さん〈金但親光株式会社
 さんちか千石船店長〉
 入社以来今年で17年目を迎え、ますます円熟味の増す下村さん。「お料理だけでなく、雰囲気、サービスなども満足して頂ければ最高ですね」と語る口調も二人の息子さんがいるとは思えない程若々しい。長続きのヒケツは「やはりこのお商売が好きなのと主人の協力のおかげでしょうねえ。」とにっこり。笑顔の美しい女性店長でファンも多い。

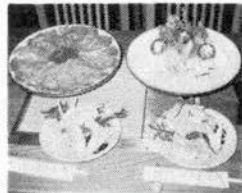
DESIGN

●田崎マイジュエリー教室で
 あなただけのデザインを
 田崎真珠三宮店3Fのフレックスギャラリーで、“タザキマイジュエリー教室”が開かれている。田崎真珠デザイナーのメリー重富先生が指導にあたり、制作の手伝いをしている。自分でデザインし、ワックスモデルを作り、あとは田崎技術スタッフが完成品に仕上げるというもの。基礎コース(3カ月・6回)と応用コースがあり、それぞれ第1・第3週目の火曜13時より18時まで、土曜13時30分より16時30分まで、といった講習

■田崎真珠三宮店／中央区三宮町2-10-23 電(078)391-4085 水曜休



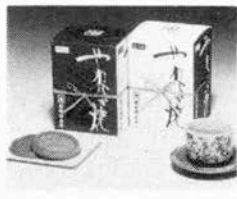
PRESENT CORNER



●応募方法 ●葉書に住所、氏名、電話番号、希望する商品名を明記の上、神戸市中央区東町11-1大神ビル9F「月刊神戸」子 神戸百貨会プレゼント係まで応募下さい。4月20日消印まで有効です。当選者には神戸っ子から当選葉書を送る。葉書を持ってお店まで、プレゼントを受け取りにお出かけ下さい。

●さんちか千石舟より
 しゃぶしゃぶとカニ酢を

毎月、兵庫県内で地域を決めて地酒フェアを催し、郷土料理も豊富な千石舟より、しゃぶしゃぶコースとカニ酢のセットをペアで一組にプレゼントします。本場神戸ビーフと産地直輸入のカニ酢をたっぷりどうぞ美味しく下さい。A M10:00~PM 9:00 第3水曜休。



●菊水総本店より
 やわらか焼を

このたび菊水総本店より新しく発売される“やわらか焼”の2種類セットを10名様にプレゼントします。瓦せんべいにはちみつをミックスしたやわらか焼がより美味しく、より上質になって登場しました。商品の受け取りは、菊水総本店までどうぞ。

TOPICS

●UCCから「ガファ」ティンナ」のほか、そとく新製品が発売されている。オリジナルコーヒ(340円)、炭焼珈琲(400円)、鳥籠茶(200円)がそれぞれお徳用パックになって新発売。中国医薬保健品会社の健美減肥茶を原料にした佳茶(1000円)も新たに仲間入りし、インスタントフリーズドライのコロンビア100%、ブラジル100%もラインナップした。

●YMC A主催の世界の家庭料理「手づくり」のワールドの催しが、ポートアイランドのコスモポリタンで3月12日(水)行われた。昨年10月に三代目ヴァレンタイン・V・ロゾフ氏が家庭でも作れる自慢のチコレート三種を上演

指導したが、今回はそのアンコールプログラムで、会費3000円で行われた。
 ●神戸風月堂の塩月久子さんが、二月をまっして円満退職されました。しばらくは引退されるそうです。
 ●株式会社ファミリアの商事部長に新しく早川慶子さんが就任されました。ご活躍をお祈りします。

●田崎真珠三宮店3Fのフレックスギャラリーでは、趣味やお稽古などの文化教室やサクルの場として、絵画展、工芸展、書道展などに利用できる。利用時間10時30分~19時30分、料金3000円~5000円(1日)問い合わせは(078)391-4085

★神戸ファッション市民大学OBによるグループ

〈神戸のファッション都市化をめざす〉

K.F.S. news 112

事務局／神戸市中央区東町113-1 大神ビル9F
月刊神戸っ子内 TEL (078) 331-2246

● 2月のマンスリーサロン

教育は“人創り” を創るもの

講師 谷岡郁子

〈神戸芸術工科大学設立
事務局運営委員会委員長〉

2月のマンスリーサロンは、テーマ“創る”PART IV。講師に、神戸芸術工科大学設立事務局運営委員会委員長である谷岡郁子さんを迎え、学校運営の立場から、違った角度で“創る”を捉えてお話しいただきました。

「私は、本来創るに対して両極端の分野にいる人間で、創ることの苦手な人間でした。そんな私が、ファッション大学にどうしてかかわっていったのか……。すべて“創る”という言葉の「器」を創ることからなのかもしれません。教育は“人創り”を創ることで。ただしつくるという言葉に、「創る・作る・造る」があるように、創るという一番高度な分野に達するためには、「作る・造る」という基礎固めが必要になってきます。オリジナリティーだけではないのです。私が現在行っている学校は、私が初めて行ったときなど、ひどいものでした。学校運営に



必要な、施設・生徒・教師の3拍子ともなっていませんでした。施設は経済的な意味があります。生徒、もしくは教師になると、それはもう人間同志の心と体のはりあいです。教師が激怒する、おまけに手を出しても、その教師に心があるなら、激怒したり手を出したりする心の意味があるなら、生徒は体でうけとめます。また、ここでは“創る”ということの偉大さを発見しました。クラスシンボルを創るという仕事に、全員がエネルギーを出しきりました。自分達でものを創る喜び、それに対する愛着。私はあらためて“創る”ということを子供たちに教えられたようでした。私は、最初にいった代めな教師という人達とは、何度も話しあい、実際体験しながら信頼関係を創っていきました。生徒を創ってくれる教師を選ぶためにも、私は、教師を創るための環境を創り続けようと考えて

います。“創る”というのは、10%のオリジナリティーと90%のエネルギーの集結ですから。

人創り、人間創りをこう考えてきた私は、芸術工科大学の話があったとき、ファッションという名のつくものでもやれるんじゃないか、と考えました。カナダ留学時代に覚えた“遊び”を生かして、活気のあるキャンパスづくりを目指しています。活気のあるキャンパスで、世の中を自分で見つめさせ、新しい価値感をもたせる。そうしているうちにファッションが生まれるのでは…。ただ私がこの大学に力を注いでいるのも、神戸だからこそです。異文化が受け入れられ、地方でありながら暖かい支えのある神戸だから。神戸から日本のあやまった教育界に、ファッションという名でなぐりこみをかけるつもりです。」

神戸ファッション研究所 設立基金募集中!

— K.F.S. ファッション公開講座 —

日時 4月23日(水)
PM 6:30~
場所 国際会館5F
小ホールA
講師 立亀長三
〈ナクトアトリエ〉
〈'86 秋冬ヨーロッパ、ニューヨーク情報(スライド付)〉 ¥2,000<当日券可>



立亀氏

びっと・いん



★フランス料理を気軽にブ
ラッセリー蘭亭オープン

白秋の「蘭亭の遊び」に
ちなんで名付けられた「ブ
ラッセリー蘭亭」が3月17



オープンしたブラッセリー蘭亭

日にオープン。

「貴女のお気に入りのダイ
ニング」というイメージ、気
どらず、人間本来の自然な
姿で肩をはずらずにフランス
料理を」と秦野社長。味に
定評のあるステーキランド
山崎、ステーキランドK.O
B.Eの姉妹店で、「雰囲気、
味、値段と三拍子揃った誰
もが探していたレストラン
」にとスタッフ一同張り
切っている。オープンニング
に先だってチャリティのバ
ーティも催された。

■阪急三宮西口山側宮迫ビル3F
3331129339水曜休10AM〜2P

M 5PM〜10PM ランチ ¥1,000より
ディナーコース ¥2,500より

★ドライブがてらに

と「ころてん」などが

国道171号線沿い、武庫川
の手前にある、おはぎでお
馴染みのサザエ食品本店。

「和雅家」という名のこの
店は、サザエ食品の商品直
売の他、喫茶・食事が楽し
める。店の中央には、樹齡
3千年というアフリカ産の
木のテーブルが置かれ、自
然光のさす店内は、シンプ
ルで清潔感が漂う。メニ
ューは、日向灘産さらし天草
が自慢のところでん(450円)



すっきり清潔な店内

四季折々の旬を京料理風
アレンジした季節点心(千
800円)を始め、この店独特
のものばかり。「サザエ独

自のものを」と主任の安
好さん。これからお客の
要望に応えつつ、メニ
ューの充実を図るとのこと。

■西宮市上田市4-17-18 番07
98(52) 6323 6AM〜8P
M(但し、喫茶・食事は10AM〜)
★バック・トゥ・ザ・パー
スト気分?でレトロ

旧居留地跡、大丸神戸店
南東の大興ビルに3月3日
「ブラッスリー・レトロ」が



5mの天井が贅沢な空間です

オープンした。

ゆっくり腰を落ち着け、
心から寛いで食事を楽しみ
グラスを傾けてほしい—
という若い高砂オーナーの
意図に叶ったレストラン&
バーだ。5mの高い天井、
クラシックな調度品、サス
ペンダーにレジメンタルタ
イのサーパー達、といずれ
も店名のごとく、時代を過
つた「雰囲気。料理は新鮮
なその日の素材をその素材
に合った調理法で、という
趣向。メニ
ューもいたって
シンプルだ。

■中央区播磨町45大興ビル1F 番3
910601 ランチ ¥1,100
00より
ディナーコース ¥6,000
00より

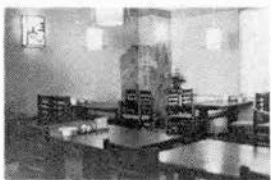
●神戸うまいもん
とドリンキング

そば処 陣

灘区八幡町1-9-16
番8511814116
11AM〜10PM 年中無休
座敷3室、駐車場有

オープンしてから二年
近く、大きな水車もすっ
かりおなじみになった六
甲のそば処「陣」。

落ち着きのある、かつ
おそのものの自然の甘み
を生かすため、おだしも
一日ねかしたものを使う
本格派。茎わかめ、山芋、
のりの味が楽しめる山海
重ねそば(¥780)。



ゆったりした店内

おろしの味がそばにびっ
たりのからみそば(¥6
50)などのお薦めメニ
ューはポリリウムもたっ
ぷり。そば粉を使ったク
ッキーブレントン、オー
トミル入りクッキーなど
食後もゆったりできます

ポケット ジャーナル



★花とサンパで盛りあがれ

第16回神戸まつり!

16回目を迎える「神戸まつり」が、今年は5月16日(金)～18日(日)に開催される。



今年もサンパでフィーバー

18日のメインフェスティバルでは、「花」をテーマに取り、あげ、まつりを盛り上げる。今年には新たに「花と緑の広場」をフラワーロードに設けるほか、「サンパ広場」を京町筋に設置し、今まで以上に観衆と一体になった情熱的な踊りの広場として充実する。

★神戸市新庁舎

高層ビルでおめえ 神戸市はこのほど、現庁舎の狭隘化を解消し、議会

活動、行政活動を効率的に推進できるように、新庁舎を建設する運びとなった。現議会棟跡地に、土地の

高度利用を図った高層ビルとなる。

地下3階、地上30階、延床面積約53,500㎡で建設費約18.7億円。着工は昭和62年1月、竣工は昭和64年9月の予定。



新庁舎完成予想写真

議会議能と行政機能の2つの機能をもった庁舎として、神戸で一番目立つ建物になりそう。

★ヤング向けに

古倉庫がホールに変身 メリケン波止場にある、船の積み荷のための倉庫が

このほど不用になったたたみデイスコやファッションショーなど多目的に使用できるヤング志向のホールに変身する。



多目的ホール完成予想図

二棟ある倉庫のうちの二棟は取り壊してレストランにも、もう一棟は、外観はそのまま、内部にはステージを設置し、若者がいろいろなイベントを催されるように改装する。二棟とも埋め立てで船の発着場がなくなったため現在使用されていない。

神戸市が今年5月から改装にかかり、来春オープン予定。なお運営は、ファッションメーカーの「ワールド」に賃貸して、イベント企画などを一任する。

★四万五千人が愉しんだ 小磯良平展

本誌の表紙絵でおなじみの小磯良平画伯の久々の展覧会が、神戸大丸で二月十三日～十八日までの一週間にあわって開催され、延べ人員四万五千人の観客動員に、その底深い人気のほどが伺えた。画伯は昭和五四年に文化功労賞、五七年に

誕生日 ありがとら 運動



啓発映画「うん頑張」

無料貸出し 各地で上映 「障害者にも職場」と訴える八ミリ映画「うん頑張」とるが完成して本運動へ寄贈され、二般への無料貸出しを開始しました。この映画は、八ミリ歴二十数年の松本一郎さん(神戸市職員)が高い技術と尊い努力と多くの私費を投じて、企画・撮影・編集・録音と、一年余りの時間をかけて丹念に制作されました。

映画の主人公は、難聴(聴覚)の障害にめげず、神戸市長田区の中テイ護謨株式会社(三木公輔社長)で懸命に働く姿を中心に、日常生活も織りまぜて展開されています。福部さんのご家族とホテイ護謨株式会社の特別のご協力によって撮影され、ナレーションは、朗読ボランティア重松明子さんです。

三月二十二日に神戸市教育会館で多くの方に参加していただき、試写会を開き、松本さんご福部さんに感謝状を贈りました。

松本さんから八ミリフィルムとビデオカセット(ベータ)とVHSの両方)の寄贈をうけましたので、大きな会場での上映でも家庭のテレビでも見られます。

本運動では、貸出し用フィルムを数本用意して、全国各地へ宅急便で無料貸出しの準備を整えています。

前作の啓発映画「小さな輪・大きな輪」と同様、どんどん上映して啓発の輪を広げてください。

誕生日ありがとら運動本部 神戸市中央区御幸通八の一の六神戸国際会館一階の郵便局の隣 電話三月中に変更の予定です。



お孫さんと共に鑑賞

日本芸術院会員五八年文化勲章を受章され、この展覧会で初期から近作まで代

表作一〇〇点とデッサン二五点が展覧さ

れ、「坡の休息」八少年時代の竹中郁／一九二七、〇、

「斎唱」八一九四一、〇、迎賓館壁画のエスキースなど名作に出会った。初日は、小磯画伯も、次女の嘉納邦子さんと孫の嘉納もさん達と共に自作と対面され感懐深げであった。

★愛された「鳩のある壁画」生田川公園↓出合小学校へ国道二号線を走る車の中から、生田川公園（小野柄小学校東側）にある「鳩のある壁画」は、メルヘンの世界に出会うような暖たか



「鳩のある壁画」を囲んで

このほど教員委員会から

彫刻大賞の優秀賞「きつな」

（平井一雄作）を新設。「鳩のある壁画」は昭和四七年当時の以登田善合区長の広報相談課（当時岩田課長）の岡田美代さんが発案し、神戸二紀会（中西勝会長）の画家達が市内小学校から募集した子供の絵を模写して毎年創り替えていた。移転に際して別れを惜しむ心が二月八日開かれた。

★親善の歌声が神戸に響く！！米・アラスカ州のケナイ・セントラルハイスクール合唱団が来日し、全国をまわ



ケナイ高校の合唱団が神戸に

親善コンサートが開かれることになった。

の要望で四月開校の出合小学校（玉区町）に欲しいというので、二月十四日に引越した。その後へは二月二十一日から神戸具象

先生。

4月5日（土）神戸文化ホール中ホールに於いて6PMより開演、入場無料。ヴィクトリア作曲のグロリアを始め、クラシック・ポピュラー・ミュージカルソングと、素晴らしい美声が聴けそう。

★すしを通じて世界の和留学生お寿司カルチャーポトアイランドの神戸大学インターナショナルレジデンスにおいて、留学生成すしづくりに挑戦した。ポトアイランドに支店を持つ「蛇の目寿司」（本店・大開通）の主催によるもので、今年で3回目。ポトアイ店によく神大の留学生が食べにきたのがきっかけで始まった。

当日は「蛇の目寿司」の中村栄輔店長らに指導を受け、留学生たちもチームにわかれ、出れ、出来栄を競いあつた。



寿司に挑戦する留学生

「お寿司を介して各国の人とのつながりができれば」と中村店長。国に帰ってもこのお寿司の味は忘れないかも…

図書ガイド



歌集「余瀛の歳月」木村榮次

著者が、昭和二十五年から綴った八百首あまりの作品を編纂、著者の心の証であり、八十歳の余瀛まで生き得たささやかな記念の碑「私の生活の真実を触れさせたかった作品」と語る。ともしびの賞を初め、数々の賞を受けた著者の最後歌集。A雪華社四五〇〇円V

「夢日記」五十百十五夜のアラカルト坂本義和

「幼いころ、親兄弟がバラバラで育ったから、人恋しくて、よく夢を見るようになった。見つづけた夢——幼少より夢を見つづけた筆者が十四年前から綴り始めた夢の記録。夢は現実と相反するものでなく、夢もまた一つの現実、潜在意識の記録は、人間正味の日記かもしれない。著者は神戸在住。Aくすのき文庫 一〇〇〇円V



「兵庫の伝説」第一、二集有井基福

庶民の間で語りつがれてきた、兵庫の伝説。県下各地から集めた第一集五〇話、第二集六〇話を収録した。「兵庫の伝説を大人向けの読み物に」という注文で、新聞記者である編者が、各地に伝わる昔話を、読み易く編集した。一話一話に風土の色と匂いと味が…。A神文書院発行 第一集一〇〇〇円 第二集二〇〇〇円V

★ヒマラヤ諸国に触れる

Himalayan Festival

ヒマラヤ諸国の文化をより理解しようと、ヒマラヤンフェスティバルが企画された。



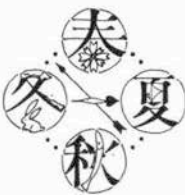
バラタナーティウム

主催は日本ヒマラヤ諸国友好協会の諸国友

当日は、インド古典舞踊バラタナーティウム、インド古典音楽、ネパールリーダンスをはじめ、絵画・写真・詩・民芸品の展示など、たつぷりヒマラヤン気分。

日時 4月10日(木)PM6:18半
 日時 4月10日(木)PM6:18半
 〇日時 4月10日(木)PM6:18半
 〇場所 ビデオ小ホール(国鉄森宮下車2分)

花時計



「街」を活性化する

先日、ある会合で世界的な数学者、広中平祐氏の夫人、広中和歌子さんの話を伺った。和歌子夫人がポストンに滞在中のエピソードであった。

最近、ポストンの街がなんとなく活気がないというところで、活性化の方法を知恵者たちが模索し

★鳴子窯の横田洋子

たじま画廊で初個展

神戸は北区西鈴蘭台で陶作に打ち込む女流横田洋子さん(42才)が「たじま画廊」で、四月二四日〜二九日まで初個展を開く。



横田洋子さん

垂水陶芸研究所(南汎主宰)で陶作を始め、焼きものの好きの主婦の集い六甲陶苑会で作品づくり。昭和五十八年に主人を失い、それ

以来、北区鳴子二丁目で陶

作の道ひとすじ。鳴子窯の名附け親、陶芸評論家の青木重雄氏は「前衛風のもの

茶陶、日常雑器など幅広い

のですが、オブジェに横田さんの本領がある」と期待している。「無から有を創りたくて、土で挑戦したい」と燃えている横田さん。鳴子窯に賭けている。

★プロジェクトA子

全国キャンベーン開始



若手No.1アニメーター西島克彦監督

よりやまゆうじ作画監督によるアニメ「プロジェクトA子」のキャンベーンが、4月10日大阪郵便貯金ホールで開催

■お問い合わせ 03-321-0321
 ■お申し込み 03-321-0321
 ■お問い合わせ 03-321-0321
 ■お申し込み 03-321-0321

ていた。そして、ひとつのアイデアを実行することになった。それは、「自分の家の周りを掃除しよう」という簡単なことであった。そして、

大成つ。街は見事に美しく生れ変わり何よりも、街の人たちの間に暖かいコミュニケーションが生まれ、ポストンの街は活きいきとした表情を取り戻してきたという。

ポストンと言えば、アメリカで最も伝統のある街、ハーバード大学をもちポストン交響楽団、ポ

ストン美術館などを持つ文化先進都市で、ポストンマラソンでは日本に馴染深い街である。

このポストンでの出来事である。文化の施設をもっている大学があってもいろいろな催しが行われても、もう一つの価値が必要であったということである。日本では古来、家の周りを掃き清め打ち水をする習慣があったのである。

△Y△

KOBÉ POST

★昭和六十年年度、第七回「兵庫詩人賞」(兵庫詩人/見野謙氏主宰)が、伊勢田史郎氏に、三月三十一日に兵庫県教育会館で受賞祝賀会が開かれました。

★本誌「華厳なる男のインタビュー」で、いい男と毎回対談中の人気放送タレントの小山乃里子さんが、このほど「パンドラの小箱」を上梓。表紙は彼女の敬愛する鴨居羊子さん。そして出版記念会が新阪急ホテルで三月十八日夜に開かれました。定価/1,200円

★朝日放送KK会長の原清三さんから、月刊神戸っ子300号記念メッセージが到着した三月四日に、香雪病院に入院中のかをる夫人が亡くなられました。神戸生れの県立第一高女を卒業して、セント・マリー英学院卒という神戸のハイカラ女性。聖・カエル大聖堂で八日の午後葬送告別式が行われました。ご冥福をお祈りいたします。

★朝日新聞論説委員から神戸新聞へと承ろく健康をふるわれ、最近松本憲逸さん(池津勇太郎)が三月二日に神戸市民病院でなくなられ、三月四日西宮で告別式が。★作家の梁雅子さんが亡くなられ、三月二十二日に大阪でご葬儀が行われました。ご冥福をお祈りいたします。

★アイトフラーワリーの長兵衛子さん(リッツフロラー)の次女久美子さんが四月二十六日に神戸ポートピアホテルで、三輪裕範さんとゴールイン♪おめでとう!

★ジャズシンガルの森哲也さんがKSJビル6Fで「アラムメール・モリ」をオープンされました。〒651中央区下山手通2-11-1 078(39)2369

□コウベ徹底ガイド(月刊神戸っ子編集)

神戸&神戸 '85年版)好評発売中!

ここには最新の神戸のすべてが凝縮されています。
観光にショッピングに、食べ歩きに、
これは便利な神戸の
総ガイドです。



〈カラー企画〉

エキゾチック神戸

〈TOWNガイド〉

- ・三宮界隈
- ・ポートアイランド
- ・北野
- ・トアロード・大丸前
- ・元町
- ・六甲
- ・岡本
- ・神戸・兵庫・長田
- ・須磨・垂水・明石
- ・芦屋・西宮・甲子園
- ・有馬
- ・六甲山
- ・宝塚

〈神戸味覚曼陀羅〉

- ・世界の料理
- ・日本料理
- ・中国料理
- ・喫茶・ドリンキング

- ・ホテル・旅館・美術館・博物館
- ・公園・レジャーランド・スポーツ施設

- ・ザ・神戸ファッション
 - ・未来をめざすコンベンション神戸
- 〈コンベンション施設一覧〉

●定価500円